

Full Speed

月刊SEOレポート 2015年7月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.64

7月は「パンダアップデート4.2」の展開の発表を中心に、特にGoogleに関する話題が豊富でした。

まず、Googleマップ日本版が10年を迎えました。10年前と比べると非常に見やすくなり、そして使いやすくなっています。現在当たり前のようになっている「Googleストリートビュー」も2008年から提供開始され実に7年の歳月が経過しています。

このようにGoogleは私たちの生活の中に溶け込み、そして常にユーザーの生活にとって使いやすく便利なツールの開発にも取り組んでいます。

Googleは「Googleが掲げる10の事実」という理念の中に
“ユーザーに焦点を絞れば、他のものはみな後からついてくる。”
という1文を掲げています。

ユーザーの利便性をまず第一に考え、新しいツールやアプリを開発する時もユーザーの期待を裏切らない完成度の高いデザインやユーザー導線を常に考えそれを実行に移しています。

今回のパンダアップデート4.2もこうしたGoogleの理念に基づいて、ユーザーにとって価値あるコンテンツとはなにか？を追求し、ユーザーの為にならないコンテンツの評価を下げる対策をとり続けています。

つまり、Googleのアルゴリズムが進化を続けていく中で、コンテンツを提供する側が未だユーザーのことを考えきれていないことでミスマッチが起きているのかもしれませんが。

ユーザーにとって「価値あるサイトとは何か？」「ユーザーにとって価値あるコンテンツとは何か？」を考え、それを提供していくことが我々に課せられた使命ではないでしょうか。

SEOコンサルティング事業部

SEOコンサルタント 梅原



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
07/05	「明治日本の産業革命遺産」がストリートビューに登場	軍艦島をはじめとする既存の5施設とあわせて、28の施設がストリートビューに登場。	-
	http://googlejapan.blogspot.jp/2015/07/blog-post.html		
07/21	Googleマップ日本版が満10歳を迎える	Google マップ日本版は、ちょうど10年前の7月14日にデスクトップ版を、20日にモバイル向けのローカル検索の提供を開始し、満10歳を迎える。	-
	http://googlejapan.blogspot.jp/2015/07/google-10.html		
07/21	新しいトップレベルドメインの取り扱いについて発表	Google検索で新しいジェネリックトップレベルドメインをどのように処理しているかについて説明。	P06
	http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/07/googles-handling-of-new-top-level.html		
07/24	Google+、インタースティシャルの利用状況を調査	Google+アプリ、ダウンロードのインタースティシャルに関する事例を紹介。	-
	http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/07/google-case-study-on-app-download-interstitials.html		
07/27	オートコンプリートAPIの今後の利用について	2015年8月10日より、非公開のオートコンプリートAPIに対する未許可のアクセス制限を発表。	P07
	http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/07/update-on-autocomplete-api.html		

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
07/15	「Yahoo!検索」に「航空券検索」機能を提供	スカイキャナーとYahoo! JAPANが合併会社を設立し、「Yahoo!検索」に「航空券検索」機能を提供することを発表。	-
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/07/15b/		
07/22	CVRを上げるためのバナー制作4つのポイント	Yahoo!ニュースアプリにおけるバナー集客の事例とそこから見えてきたポイントを紹介。	P08
	http://staffblog.news.yahoo.co.jp/newshack/newsapp_bnr_test.html		
07/27	「myThingsプラットフォーム」の提供と「myThings」アプリを公開	IoT分野に対して、インターネットサービス事業者の目線で「ユーザーの生活を豊かにする」ことを目的としてサービス提供を開始。	-
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/07/27a/		

「新しいトップレベルドメインの取り扱いについて発表」

今月のトピックス01

新しいジェネリックトップレベルドメイン(gTLD)、例えば「.guru」、
「.how」など数多く登場する中で、Google検索がどのように処理をして
いるのか？を公式ブログにて発表しました。
ドメインによってサイト評価は高くなるのか？など様々な疑問について公
式見解を述べています。

Q Google は、新しいTLDが有利になるようアルゴリズムを変更しているのですか？

A 検索において、特定のTLDのキーワードが有利に働くことも不利に働くこともあり
ません。

Q 「.みんな」のようなTLDも、Googlebot がクローリングしてインデックス登録し、
検索で使用できるようになるのですか？

A はい。このような TLD も、他の TLD と同じように使用できます

Q 「.ブランド名」TLDの扱いが「.com」と異なることはありますか？

A いいえ。そのようなTLDも他のgTLDと同じように扱われます。

Q 地域や都市のTLD（.london、.bayern など）はどう処理されますか？

A 地域固有のTLDもgTLDと同じように処理します。「.eu」や「.asia」などの
地域TLDと同じ扱いです。

Q Google では、「.jp」などのccTLD(国別コードトップレベルドメイン)を、その国で検
索している人のローカルドメインとして重視しますか？

A ccTLDを地域ターゲティングに使用しています。ccTLDを見れば、そのウェブサイトが
該当の国に関係している可能性が高いと判断できます。

Q ドメインを「.com」から新しいTLDに移転する場合、SEOに関してGoogle のサポー
トを受けることはできますか？

A Googleでは、新しいTLDへの移転も他のサイト移転と同じように扱います。

「オートコンプリートAPIの今後の利用について」

今月のトピックス02

Google検索には、クエリを予測するオートコンプリート機能があります。これまで、数多くのデベロッパーが公開されていない非公式のAPIを使ってオートコンプリートの結果を自らのサービスに使用してきましたが2015年8月10日より、「Autocomplete API」に対するアクセスを制限することを発表しました。

オートコンプリート機能とは

Google検索ボックスに特定のキーワードを入力すると、ユーザーが入力を終える前にクエリを予測する機能のことであり、関連する他の検索キーワードが表示されます。



オートコンプリートの仕組み

オートコンプリートによる予測はアルゴリズムによって自動生成され、過去のユーザーがキーワードを入力した頻度など様々な要因に基づいて表示されます。

2015年8月10日より「Autocomplete API」に対するアクセスを制限

Googleの公式発表により「Autocomplete API」を使用したツールが2015年8月10日(月曜日)以降使用できなくなる可能性が考えられます。

この「Autocomplete API」を使用したツールは、無料で提供されているサジェストキーワードのSEO調査ツールがあげられます。

但し、オートコンプリート機能がなくなるわけではありませんので、今後はツールを使用しない手法で調査することが必要になるかもしれません。

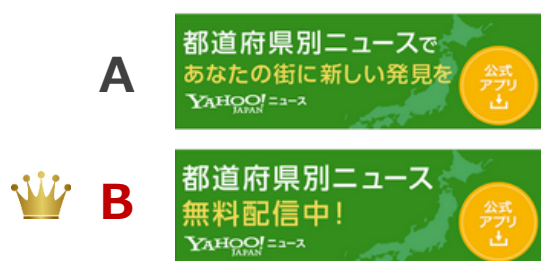
「CVRを上げるためのバナー制作4つのポイントを紹介」

今月のトピックス03

アプリの運営者が抱えている課題の一つに、「どう集客するか（ダウンロードしてもらうか）」ということが挙げられると思います。現在、Yahoo!ニュースはブラウザとアプリ両方で情報を提供していますが、今回はYahoo!ニュースアプリにおけるバナー集客の事例と、そこから見てきたポイントを紹介しています。

Point①:アプリの「PRポイント」を探す

まず、アプリの「PRポイント(特徴的な機能)」について探り、Yahoo!ニュースアプリならではのポイントを洗い出しコピーをいくつか作成、その上でA/Bテストを行いました。



Point②:「デザイン」を探す

「何をPRするか」が決定したところで、次にコピーをのせるデザインを探ります。さまざまなデザインを用意し、A/Bテストを繰り返しながらデザインを決定しました。



Point③:時にはバナーを「休ませる」

バナーは常に「作り続ける」ことが大事。同じデザインを出し続けると、徐々にCVRが下がっていきました。常に新たなバナーを研究、効果検証し、PDCAを回していくことが重要といえます。

ダウンロード数(CVR)



Point④:私情を捨て、「ユーザーに聞く」

A/Bテストでユーザーに繰り返し問い続け、PDCAをまわし続けることの重要性をあらためて実感しました。

A/Bテストが示す数字 = 「ユーザーの声」といえます。どんなに時間をかけ、制作者が手の込んだバナーをつくっても、ユーザーに届かなければ意味がありませんので今後も、PDCAを回していくことが重要です。

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。

SEO

In-house SEO Meetup [Kansai Edition 2015]

2015年8月1日（土）13:05 ~ 19:45

大阪産業創造館 イベントホール

<http://cssnite.jp/osaka/seo2015/>



Webサイト設計

NEW

カスタマーエクスペリエンスコンファレンス2015

2015年8月25日（火）10:30 ~ 17:35

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

<https://web-tan.forum.impressrd.jp/events/201508>

カスタマーエク
スペリエンスコン
ファレンス2015

テクノロジー

ad:tech kansai 2015

2015年9月15日（火）～16日（水）10:00 ~ 19:00

グランフロント大阪 北館 B2F

<http://adtech-kansai.com/>



IT全般

ITpro EXPO 2015

2015年9月30日（水）～10月2日（金）10:00 ~ 18:00

東京ビッグサイト 東4-6ホール

<http://expo.nikkeibp.co.jp/itpexpo/2015/>

EXPO 2015

SEO

NEW

In-house SEO Meetup [Advanced SEO 2015] powered by CSS Nite

2015年10月24日（土）午後

ベルサール渋谷ファースト

<http://cssnite.jp/inhouseseseomeetup/tokyo2015/>



SEO Report

全体的な
順位変動の状況

Section 02

順位変動状況サマリー

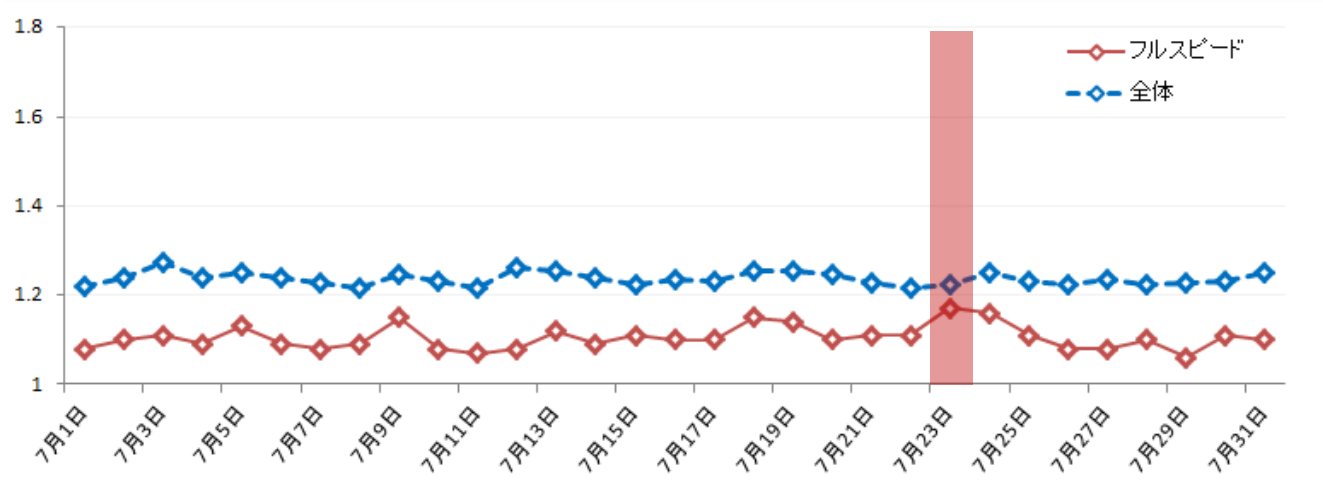
2015年7月の順位変動に関するサマリーコメント

全体の変動率平均は「1.10」と今年もっとも低い数値ですが、7月23日～24日にかけて少規模の変動を観測しました。

GoogleのGary Illyes（ゲイリー・イリーズ）氏が7月24日21:45にTwitter上で「先週末にパンダアップデートの展開を開始した」とアナウンスをしたことからアップデートの影響が考えられます。

但し、今回のパンダアップデートはGary Illyesがアナウンスしているように完了するまでに数カ月かかると発表しており、刷新内容は分析中です。（詳細はP.15・16をご参照ください）

Googleの順位変動率の推移（2015/7/1～2015/7/31）



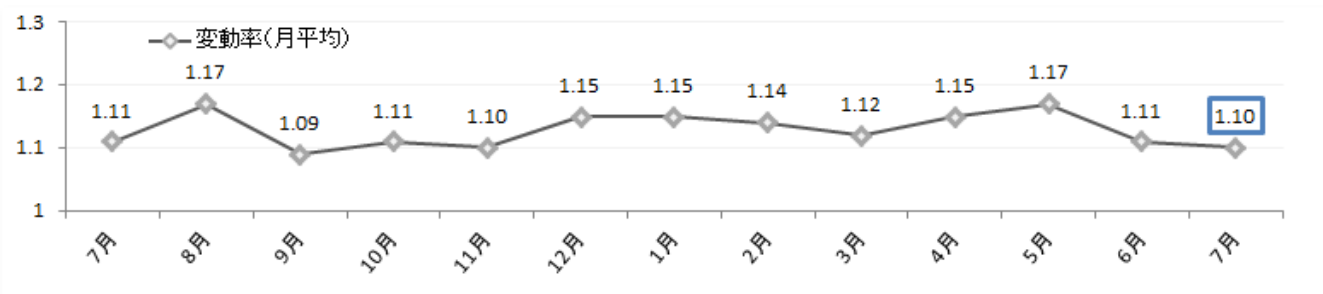
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



最新記事のご紹介



「Ahrefs Positions Explorerで検索キーワードが丸裸に！？」

バックリンク調査ツール「Ahrefs Site Explorer（日本版）」に検索エンジンにおける集客状況を調べる機能の基本的な使い方を紹介する記事です。

競合サイトを調査できる「Positions Explorer」の操作説明を中心にまとめています。

<http://growthseed.jp/special/ahrefs-positions-explorer/>

アップの予告

8月は記事の公開の他にレポートプレゼントを3件公開する予定です。

- 1.コンテンツガイドライン
- 2.Google活用ガイドブック(リニューアル)
- 3.FullScopeガイドブック(専門家によるWEBプロモーション全集)

対応事例 _ コンテンツ制作にはキーワード設計が大事！

当社・コンテンツSEOを対策しているサイトの事例をご紹介します。

■ジャンル：調理師資格講座サイト

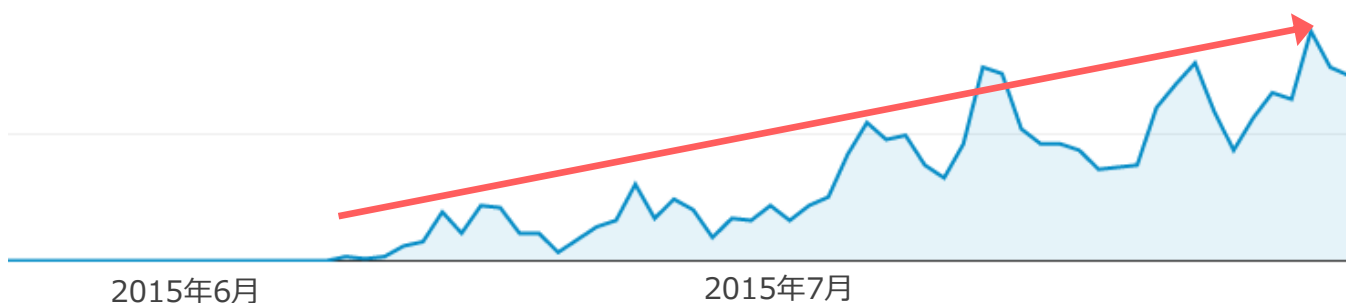
2015年5月から新規で記事を追加しているサイトの事例です。

(5月に3記事、6月に4記事、合計7記事公開)

コンテンツSEOでは記事を20記事前後、追加したあたりからアクセスが急増する傾向が確認されていますが、本事例ではわずか7記事のみの公開で月間1,800セッションを超えています。今回の施策にあたって流入数を伸ばすために意識したことは以下の2つになります。

- ・キーワード設計を意識
- ・シーズンによる検索クエリの需要が増加することを予測し、それに合わせてコンテンツをアップ。

この中でも特に「キーワード設計」を強く意識したことで自然検索からの流入を増加させることができました。



■キーワード設計にはカスタマージャーニーを意識

コンテンツをアップする前にキーワードの選定をしますが、単純にサジェストワードの検索ボリュームを調査するだけでなく、カスタマージャーニーを意識することが大事です。

カスタマージャーニーとは、顧客が購入に至るプロセスのことです。

今回のコンテンツSEO対策として、具体的には「調理師免許」を受験する前後の過程において、必要となる情報を時系列順に並べます。サジェストキーワード等と照らしあわせながら作成したことで少ない記事数にも関わらずセッション数を伸ばすことができました。

特集 _ パンダアップデート4.2を展開

7月24日にGoogleのGary Illyes（ゲイリー・イリーズ）氏が「先週末にパンダアップデートの展開を開始した」とTwitterで発表しました。



参照 : https://twitter.com/methode/with_replies

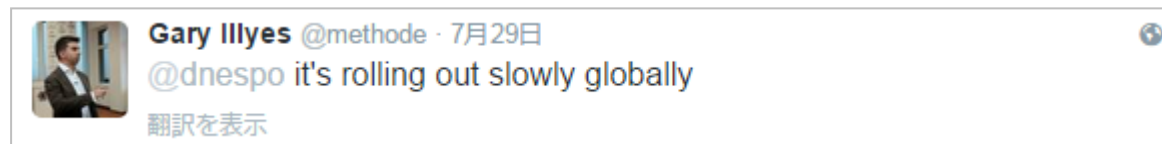
パンダアップデート4.2と命名

「 Search Engine Land 」では今回の更新を「パンダアップデート4.2」と呼んでいます。前回の2014年9月のパンダアップデートを最後に実施されてから実に10カ月ぶりとなります。

6月初旬にシアトルで行われた「SMX Advanced 2015」で2~4週間以内にパンダの更新を行うと予告しましたが、今回のアップデートは約6週間後に更新されたこととなります。

完了までに数カ月かかる

今回のパンダアップデート4.2はTwitter上で発表があったとおり、更新が完了するまでに数カ月かかる見込みです。また、検索クエリの2~3%に影響するとも発表しており、英語圏のみならず、日本語を含むグローバルのアップデートの展開となります。



参照 : https://twitter.com/methode/with_replies

パンダアップデートへの対応策とは？

パンダアップデートは良質なサイトの掲載順位をより評価するアルゴリズムです。運営サイトに以下のようなページがないか確認することをお勧めします。

- ・利便性の低いページ
- ・他のサイトからコピーされているようなページ
- ・サイト内に類似コンテンツ、重複コンテンツがあるページ

特集 _ パンダアップデートの更新履歴について

今回のパンダアップデートは最後に更新が行われてから10カ月経過しています。

パンダアップデートは「低品質なサイトの順位を下げ、良質サイトの評価を高める」Googleのアルゴリズムです。2012年7月に日本に導入されてから実に3年経過しているアップデートになります。

そこで今回はパンダアップデート4.0以降の更新履歴についておさらいしたいと思います。

主なパンダアップデートの更新履歴

2012年7月18日

パンダアップデート実施

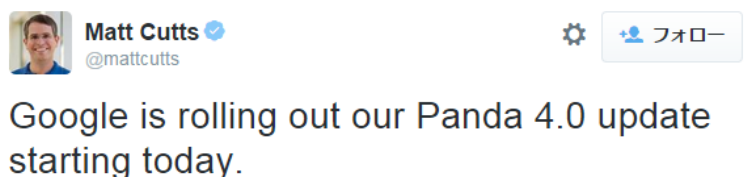
日本初導入。Google公式ブログにて約4%の検索結果に影響する見込みと発表。

2014年5月

パンダアップデート4.0

英語圏の検索結果に与える影響は7.5%と発表。(Search Engine Landより)

Matt Cutts (マットカットス) 氏のTwitterより



【概要】

Googleは、パンダアップデート4.0の展開を本日開始しました。

2014年9月

パンダアップデート4.1

検索結果に与える影響は3~5%と発表。

Pierre Far (ピエール・ファー) 氏のGoogle+より



【概要】

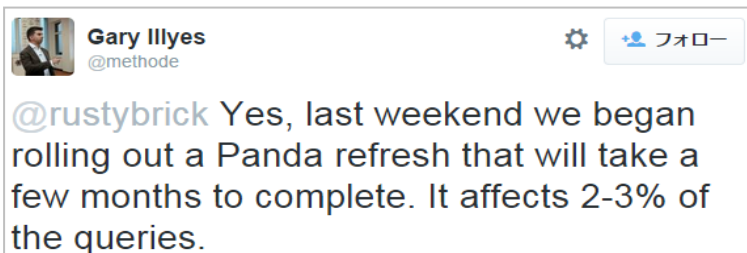
低品質コンテンツをより正確に識別するためのシグナルを追加しました。国や地域によってクエリの約3~5%が影響を受けます。

2015年7月

パンダアップデート4.2

検索結果に与える影響は2~3%と発表。

GoogleのGary Illyes (ゲイリー・イリーズ) 氏のTwitterより



【概要】

先週末に、パンダアップデート更新の展開を始めました。パンダアップデートが完了するまでには数カ月かかる見込みです。クエリの2~3%が影響を受けます。

特集_ネットショッピングの実態を探る！！

総務省統計局がネットショッピングの実態を正確かつ詳細に把握するために「家計消費状況調査」においてネットショッピングの内訳を公開しました。

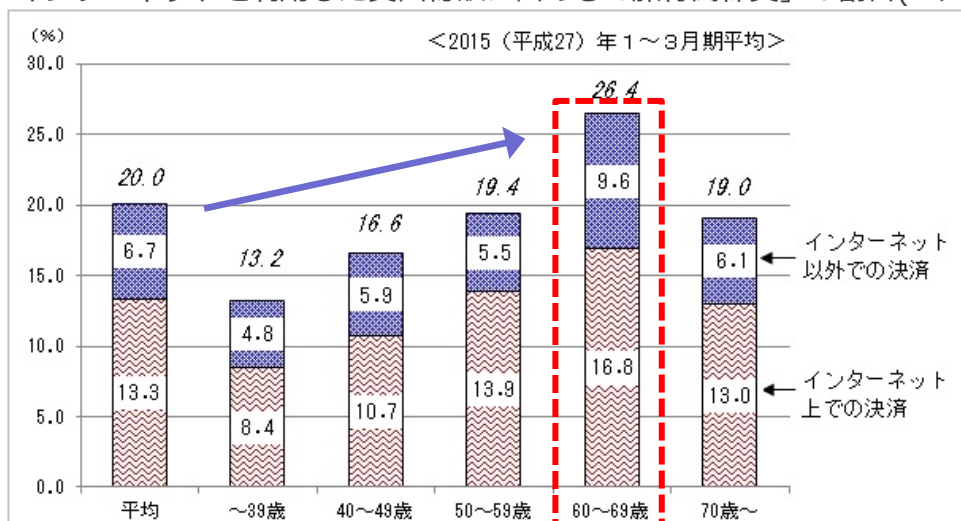
調査期間：2015年1月～3月までの3カ月間

調査内容：世帯主の年齢階級別に見た1カ月間のネットショッピングの支出総額とその内訳の特徴

インターネットを利用した支出の主な内訳

主な内訳を確認してみると「旅行関係費」の支出が20.0%と最も高く、次に「食料」が14.4%、「衣類・履物」が11.3%、「家電・家具」が10.6%となっています。それらのうち「旅行関係費」、「衣類・履物」についてご紹介します。

インターネットを利用した支出総額に占める「旅行関係費」の割合(二人以上の世帯)



【概要】

旅行関係費の構成比を確認すると、

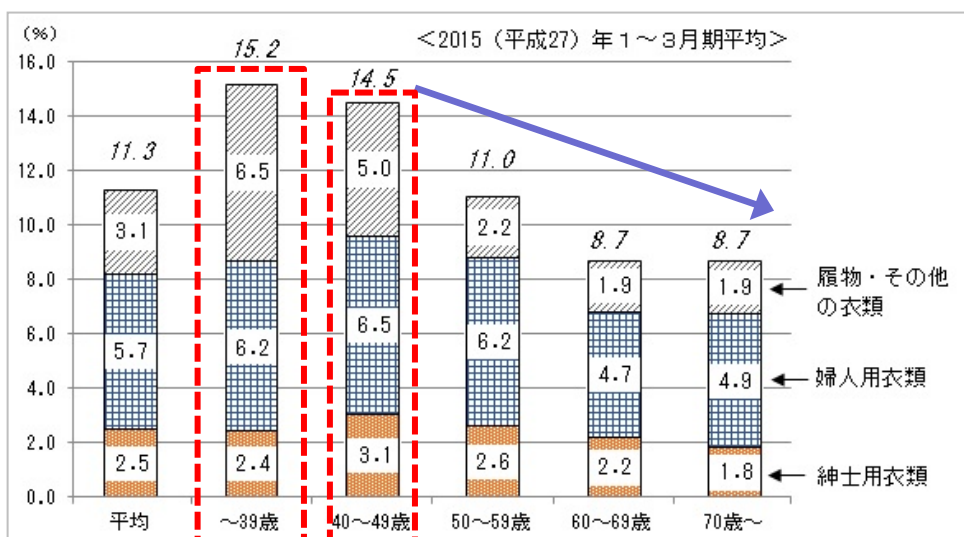
- ①60歳～69歳：26.4%
- ②50歳～59歳：19.4%
- ③70歳以上：19.0%

となっています。

【旅行関係費】

宿泊料・運賃、パック旅行費

インターネットを利用した支出総額に占める「衣料・履物」の割合(二人以上の世帯)



【概要】

衣料・履物の構成比を確認すると、

- ①40歳未満：15.2%
- ②40歳～49歳：14.5%
- ③60歳代と70歳以上：共に8.7%

子供用の衣類なども含まれるためこれらを中心にインターネットで購入している割合が高いと思われます。

今回の調査から「乳幼児のいる世帯」や「高齢者のいる世帯」などは店頭へ赴くよりも宅配のニーズが勝っている場合に利用していることが想定されます。

参照元：「総務省統計局」<http://www.stat.go.jp/info/today/096.htm>

月刊SEOレポート 2015年7月版

- Monthly SEO Report vol.64 -

発行 2015年8月4日

発行者 SEOコンサルティング事業部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2015年7月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

